

なかの 市議会だより

8月号

2026年(令和8年)
8月5日発行

No.85

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



長野県消防ポンプ
吹奏大会
吹奏大会

中野市消防団
南方方面隊が出場

●市政一般質問	請願	意見書	事件案	予算案	条例案	●議案件数および議決内容	開会	閉会	会期
41件	2件 不採択	1件 否決	2件 可決	4件 可決	4件 可決		6月8日	6月25日	18日間

6月定例会



笠原 豊



RSウイルス母子免疫ワクチン接種の推進について

質問 乳児への健康リスクは。

答弁 RSウイルス感染症は、特に生後6カ月未満の乳児では重症化しやすく、細気管支炎や肺炎を引き起こし、入院が必要となる場合がある。

質問 対象者への周知や接種勧奨の進め方は。

答弁 市公式ホームページ、広報なかの、ライフビジョン、SNS等を活用し、予防接種の意義、接種時期について周知を図るとともに、母子健康手帳交付時や妊娠8カ月個別面談の際にも接種勧奨を行っている。

質問 妊婦への情報提供と相談体制の充実は。

答弁 妊婦の方が安心して接種について判断できるよう、ワクチンの有効性や安全性、副反応等に関する正確な情報提供が重要であると考えている。最新の知見に基づく情報提供を行うとともに、保健師等による相談体制の充実に努めている。

小中学生の居場所について

質問 新たな居場所設置の目的は。

答弁 小中学生の不登校の割合が高い状態が続いていることから、まずは家から外出し、居場所を利用することで生活リズムの改善を図り、社会性、自立性の向上を促し、登校再開への支援を行うためである。

質問 居場所の運営状況は。

答弁 今年度、学童保育やまびこクラブの空き時間を活用し、平日の3日間、午前10時から午後2時まで開設している。定員は10人で児童・生徒の支援を行う支援員を2人配置。生活、学校等の相談を行うほか、レクリエーションや調理など児童・生徒の希望に沿った活動を行っている。

生命(いのち)の安全教育の推進について

質問 生命を大切にする考え方や、人権教育、安全教育について、どのような授業や指導が行われているか。

答弁 文部科学省の教材や保健の教科書、絵本などを使用した授業や指導を行い、市内全ての小中学校で生命の安全教育に取り組んでいる。また、市の事業として、さまざまな暴力から自分を守る力を育てる教育プログラムを活用した授業を年1回実施している。

その他の質問

・市民後見人制度の活用促進と成年後見人等送付先住所変更の手続きについて



宇塚 千晶



医療的ケア児(者)ならびに重症心身障がい児(者)等への支援について

質問 飯山支援学校は、ハザードマップ上の浸水区域にあり、災害時は電源確保に課題があるほか、放課後デイサービスが中野市等にあるため、送迎が非効率な現状もある。学校の在り方について関係機関との連携は。

答弁 高校再編に伴う空き施設の跡地利用の動向を踏まえて対応する。

質問 市内1事業所の医療的ケア児(者)の受け入れ中止による影響は。

答弁 年齢に応じて柔軟に対応可能な施設であることから、利用者等に影響を及ぼす可能性があり、対策を講じたい。

市内鉄道駅のトイレ・駐車場等について

質問 JR飯山線立ヶ花駅は長野市地籍だが、高校生等の市民が多く利用する。公衆トイレを設置してはどうか。また、長野電鉄桜沢駅や信濃竹原駅のトイレ更新はどうか。

答弁 利用者の利便性向上のため、鉄道会社と協議の上、検討する。

愛玩動物等にやさしいまちづくりにについて

質問 保護犬・保護猫の譲渡推進について、関係機関との連携は。

答弁 譲渡会の情報等を公式ホームページ等で市民に周知する。

学校給食センター新設統合事業について

質問 少子化が進む中、南部学校給食センターの活用が困難な理由は。

答弁 給食はクラス単位で提供されるため、児童・生徒数が減少してもコンテナの必要数は変わらない。現状の南部学校給食センターに全てのコンテナの収容は困難である。この状態の解消には、コンテナプール等の増設が必要になるが、敷地が手狭であるほか、高圧受変電設備等の移設が必要で、極めて困難である。

質問 これまで2施設によるリスク管理はできていたのか。

答弁 現在の2施設では、一方の施設でトラブルが発生した場合、もう一方の調理能力では、市内小中学校の全てに給食を提供することは困難である。突発的な原因により給食が提供できない場合はヒートレスのカレー等により対応している。

その他の質問

・選挙管理事務DXの取り組みについて



阿部 一真

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について

質問 児童1名あたりの面積や利用環境について、現状をどのように評価しているのか。

答弁 本市の放課後児童クラブにおける児童1名あたりの面積や設備、職員体制などを含めた利用環境は、法令および市が定める条例の基準を満たしている。一方、中野小学校区内のクラブでは、近年の共働きの増加や住宅地の造成に伴い利用児童が増加し、過密化が課題となっている。

質問 児童や保護者、現場職員から寄せられている意見や要望の把握とその対応はどうか。

答弁 保護者や関係職員が参画する各種会議や、指定管理者が保護者に対して行うアンケートにより意見を把握している。運営や駐車場などさまざまな意見をいただいているが、対応可能なものは指定管理者とともに速やかに対応している。

質問 放課後児童クラブの役割と位置付けはどうか。

答弁 放課後などに保護者が家庭にいない児童が、安全・安心に遊び、

生活する場所で、児童の健やかな成長を支援する大切な場所であると考えている。

質問 中野小学校区における放課後児童クラブの改善の検討状況は。

答弁 利用児童の過密化や駐車場の課題を解消するため、中野児童センター放課後児童クラブと学童保育やまびこを統合するとともに、中野放課後児童クラブ（バラっ子）の定員の一部を移行する新たな施設を建設し、今年度、設計業務を進める。

質問 環境改善を進めるにあたり、児童や保護者、現場職員などの意見をどのように反映していく考えか。

答弁 引き続き各種会議等において関係する方々から意見を伺い、新たな施設の建設を進めていく。

質問 新施設完成までの間、どのような対策を講じる考えか。

答弁 夏休み期間中、バラっ子の利用児童が著しく増加することから、冷房機能を備えた多目的ホールのある公共施設で活動するなどの対応を行う。

質問 施設整備や運営方針についての情報発信や情報共有の進め方はどうか。

答弁 市公式ホームページおよび関係者が参画する各種会議などの場を通じて、情報発信、情報共有に努めていく。



阿部 光則

中東情勢による影響について

質問 米国とイスラエルによる国連憲章や国際法を無視したイランへの攻撃に伴う物価高騰等の影響をどう把握しているか。

答弁 物価高騰の要因は中東情勢だけではないが、市民や事業者に広く影響しているものと考えている。

質問 市内事業者への聞き取りなどの調査や独自の支援策はどうか。

答弁 信州中野商工会議所がアンケートを行っている。国の重点支援地方交付金を活用し、本市の実情にあった支援事業を実施している。

公共交通について

質問 今秋から廃止・減便になるバス路線の詳細とその理由はどうか。

答弁 10月1日から営業線は廃止し、上林線の路線の一部を変更し、営業線のバス停を経由して運行する予定。中野木島線は、現在の野沢線との統合にあわせて、休日の運休など減便となる予定である。両路線共通して運転手不足が大きな原因である。

質問 長元坊団地内を通っていた営業線が廃止になり、高齢者の方が多く

住んでいる地域であるため、大変な状況だがどうするのか。

答弁 竹原団地や長元坊団地には道路が狭く使用する大型バスでは通れない場所もあるため、現在示されたルートで乗車いただきたい。

質問 そこで暮らす人たちの移動手段をどう確保するかが課題となるが、どう考えているか。

答弁 今年度、公共交通計画を策定する中で、いろいろな方のご意見を聞き、交通弱者対策を考えていく。

学校給食センターについて

質問 建設後20年という耐用年数の面でも常識的にもまだ新しい施設を取り壊し、建て替えるという事業に市民からの理解が得られているか。ほかの方法を検討してきたか。

答弁 現在の2施設は、経年劣化による施設の改修や厨房機器等の更新などが必要な状況であり、今後の児童・生徒数の減少を踏まえ、公共施設最適化部会で検討した結果を受け、将来を見据え新設統合するとした。

質問 20年での建て替えは、全国的にも例がない。大規模な投資ではなく長寿命化対策で対応する事例が多いが、どのように考えるか。

答弁 給食数の維持が必要な場合は、大規模改修となるが、児童・生徒数の減少で、2施設を維持していくより、一つに集約したほうがよいと考えている。



選挙の投票率向上について

質問 4月26日執行の中野市議会議員一般選挙における年代別投票者数と投票率はどうか。

答弁 18歳・19歳が14人で20・51%、20代が752人で25・94%等であり、全体の投票率は、47・81%であった。

質問 選挙の総括はどうか。

答弁 本市の投票率は、県全体の市議会議員選挙の中央値で、全国の中央値を上回る数値である。また、市議会議員選挙の投票率が低いのは、全国的な傾向である。若者の投票率の低さは、本市を離れても住民票を移さない人もおり、地方選挙の情報が入り込んでいないことが影響していると考えられる。地域社会に対する無関心層の増加や、地域との関係性の希薄化の影響も考えられる。

質問 課題と今後の対応は何か。

答弁 投票の意義と投票参加への呼び掛けなど啓発活動を推進し、投票率向上を図っていく。

シルバーいきいき応援券について

質問 現行の利用状況はどうか。また、取扱業者の応募状況はどうか。

答弁 利用率は、分野別ではバスが2・6%、電車が7・0%、入浴施設が32・4%、理・美容院が28・3%等であり、全体では65・0%である。取扱業者は、昨年度新規登録が7者あり、今年度当初の登録業者数は89者となっている。

質問 運営上の課題と対策は。また、応援券の汎用化に向けた取り組みは。

答弁 既に制度として定着し、必要な方は利用していると認識している。高齢者の健康増進、介護予防が制度の趣旨で、汎用化は考えていない。

(仮称)中野市美術館建設基本計画の保留と再検討について

質問 市内各所での美術展と(仮称)中野市美術館との運営上の整合性はどうか。

答弁 中野市美術館運営準備委員会の中で運営内容を検討していくが、美術館完成後は、各展示施設とも連携を図っていく。

質問 基本計画が進められる場合と保留・再検討される場合の市民利益の比較考量はどうか。

答弁 資材価格が高騰している中、今後の状況は不透明で、財源等の確保も確約できないことから、現時点での計画の保留・再検討は得策ではないと考えている。

質問 保留し再検討できない理由は。

答弁 スケジュールに従い、計画どおりに進める事が最善と考えている。



美術品や歴史資料の収蔵・保管等の状況と(仮称)中野市美術館建設について

質問 中野市所蔵の美術品の点数は。

答弁 現在収蔵している美術品の種類および数は、絵画338点、彫刻49点、木工品1点、書5点、金属工芸1点、陶芸3点、版画257点の計654点である。

質問 美術品の状態と修復の実態およびその予算は。

答弁 今年度、収蔵する美術品台帳の整備とともに、劣化により修復が必要なものを一点ずつ確認して、100万円の予算の中で、優先順位を決め、修復を行う。

質問 今後の歴史資料の収蔵・保管、修復の計画は。

答弁 令和10年度を目途に市立博物館のリニューアルを予定しており、資料の種類ごとに整理を行うなど、資料の適正な収蔵・保管を進めるとともに、引き続き出土鉄製品を中心に資料の修復作業を行う計画である。

質問 (仮称)中野市美術館の収蔵施設について、既存収蔵庫の改修・増築の計画は。

答弁 新たな収蔵庫は設けないが、

既存の収蔵庫スペースの拡充など、美術品をより適切に保存するため、収蔵庫の改築等を検討していく。

mRNA新型コロナウイルスワクチン等のワクチン接種について

質問 mRNA新型コロナウイルスワクチン接種の実態は。

答弁 本市においては、令和3年4月20日から令和6年3月31日まで特例臨時接種を実施し、3万8千127人の市民が接種を受け、ほぼ全員の3万8千109人の方がmRNAワクチンでの接種である。

質問 mRNA新型コロナウイルスワクチン最終接種日から短期間で亡くなられた方の人数は。

答弁 特例臨時接種を実施していた3年間に於いて、最終接種日翌日に亡くなられた方が2人、3日以内が5人、10日以内が22人、半年以内が809人、1年以内で亡くなられた方の合計は1千322人となる。なお、亡くなられた方の人数については、特例臨時接種を実施していた3年間に於いて、ワクチン接種を行ったことのある人数で算出されたものであり、また、死亡原因とワクチン接種との因果関係については不明である。

その他の質問

・指定管理者制度の有効性について
・市内高等学校の市公共施設の使用等について



フッ化物洗口について

質問 フッ化物洗口の安全性についての検討は。

答弁 国や県が示す実施マニュアルや専門機関の知見を参考に、中高歯科医師会の指示に基づき、適切な濃度および使用量を守りながら、学校職員の見守りのもとで実施している。

質問 フッ化物洗口を、5歳児から対象にしている経緯は。誤飲してしまふ危険はないのか。

答弁 うがいを適切にできる発達段階に達していることやフッ化物洗口は、生え始めの新しい歯ほど歯の質を強くする効果があり、平成2年から公立保育所で、平成14年から私立保育園等で開始している。

質問 フッ化物物についての最新の研究によると、飲料としての場合、I・Qの低下との関連が示唆されている。これについての検討は。

答弁 一般的なフッ化物洗口として用いられる濃度や方法による実施については、健康への影響を示す十分な科学的根拠は確認されていない。

質問 2011年に日本弁護士連合会から提出された集団フッ素洗口・塗布の中止を求める意見書には、フッ素自体に毒性があること、医薬品添付文書に副作用報告があること、選択制を取っていると何故やらないのか等子ども同士の圧力を感じてしまうことなどが書かれている。虫歯予防の効果と共に、フッ化物洗口に伴う安全性に対する疑問点があることも、広く保護者に伝え、その上で選択してもらうようにしてはどうか。

答弁 選択制については、従来から保護者の理解を得ながら、同意があった方に対して実施している。

学校給食センターの整備・運営について

質問 児童数の減少が見込まれている中で新設する意図は。

答弁 改修するには、長期にわたり給食を停止する必要があること、現施設を存続する場合、2施設分の費用やランニングコストが掛かるなど多くの課題があるため、新設統合が適切と判断した。

質問 県内自治体では、給食センターを30年以上使っている。建物自体は利用可能と考える。既存施設の改修工事に対応できないのか。

答弁 給食コンテナの数が増えることによる南部学校給食センターの増築は、施設配置上困難である。

その他の質問

・ 民生児童委員等の活動への支援について



地域情報配信アプリ「ライフビジョン」の登録促進と市民への周知徹底について

質問 アプリの登録率や世帯カバー率の推移、高齢者層などが抱える情報格差への課題認識は。

答弁 令和8年5月末でアプリ登録数は6千108件、世帯カバー率は34.1%。単にアプリ登録のみを呼びかけるだけではなく、スマートフォンでの操作に不慣れな方にも丁寧に寄り添い支援していく。

質問 イベント等での特設ブース設置による動線設計やSNS発信力のある市民との連携など、具体的なプロモーション戦略は。

答弁 アプリの必要性を感じたその場で登録できる環境を整えることが効果的と考え、イベントにおける登録支援ブースの設置など、取り組みを強化する。SNSフォロワーの多い市民との連携は、公平性などのルールを整理しつつ適切に進める必要がある。

質問 地域主体のサポート体制の構築は。

答弁 各区での説明会のほか、各区DX推進サポーターの制度活用を推進し、地域で支え合う仕組みづくりを進めていく。

にぎわい創生推進事業の成果連動型インセンティブ導入と市民活動の持続可能性について

質問 令和7年度以降の申請状況と成果、また、事業評価指標明確化への見解は。

答弁 にぎわい創生推進事業補助金とマルシェ開催事業補助金では、魅力的なイベントが数多く開催され、総集客数は約2万8千400人と、地域経済の活性化が促進され、大きな成果があったものと考えられる。令和7年度の申請はにぎわい創生推進事業補助金が9件で交付額約427万円、マルシェ開催事業補助金が4件で交付額120万円である。令和8年度は両事業を統合し、申請件数は3件となっている。

質問 多様な活動を孤立させず、市がハブとなる事業発表会や意見交換会を定期開催し、団体間のコラボレーションを促すべきではないか。また、持続可能な市民活動への支援として、補助率優遇等の「成果連動型インセンティブ枠」の導入の考えは。

答弁 各団体の交流や連携については、やる気のある方がなるべくうまくつながるよう、成果連動型インセンティブの導入を含めて、前向きに検討していく。



手話言語条例の制定について

質問 手話を言語として位置付ける意義は。

答弁 手話は聴覚に障がいのある方にとって、重要な意思疎通手段であり、独自の文法や語彙を持つ「一つの言語」であるという認識を社会全体で共有することであると考える。

質問 条例制定に向けた検討はどこまで進んでいるか。

答弁 中野市聴覚障害者協会と調整を行いながら、内容を検討しており、今年度中の制定を予定している。

質問 手話通訳者・要約筆記者の確保状況と課題は。

答弁 全国的に担い手の高齢化が進み、本市でも人材確保が課題で、安定的な確保が必要と認識している。

質問 市民への手話普及・啓発の取り組みと今後の方向性は。

答弁 映画上映会などを通じて理解促進を深めていただいたものと考えている。また、手話奉仕員養成講座を実施し、担い手育成に努めている。今後も普及啓発に取り組む。

市民生活の支援と物価高騰対策について

質問 市指定のごみ袋の供給不足について、市の現状認識と対応は。

答弁 製造業者からは例年並みの供給と聞いているが、一部店舗で品薄が続いている。市民の不安解消のため臨時措置を実施した。

質問 在庫が底をついた場合の対応についてはどう考えているか。

答弁 状況を見極めながら、臨時措置の継続など判断していく。製造業者からは十分な供給が可能との報告を受けている。

質問 物価高騰への市独自の生活支援策は。

答弁 水道基本料金無償化や商品券交付など、国からの重点支援地方交付金を活用した事業を実施している。

中野市議会議員一般選挙の検証と今後の改善について

質問 投票率の動向と分析は。

答弁 投票率は47・81%で、全国・県と同程度だった。市議選の投票率が低いのは、全国的な傾向である。

質問 期日前投票所の利用状況は。

答弁 投票者数は7千230人、投票率は20・93%であった。

質問 市議選への課題認識は。

答弁 投票率の低下が続いていることが課題と捉えている。要因は、地域社会への無関心層の増加、地域との関係性の希薄化、本市を離れている若者への対応などと考えている。



(仮称)中野市美術館建設について

質問 特に中東情勢の影響で物価が高騰している。建設資材や設備機器の高騰による事業費の変更や工期延長は想定しているのか。

答弁 昨今の物価高騰の状況は懸念しているが、現事業費で完成に努めたい。契約内容は、工期が長期間にわたる場合に、契約締結日以降の賃金や物価水準の変動に合わせて請負金額の変更を請求できるスライド条項を契約書に盛り込み対応している。

質問 (仮称)中野市美術館の工事が始まるが、市長の思いは。

答弁 価値のある作品も多くある。日の目を見ず眠っていた絵画などを展示し、「中野に行ってみよう」と思われるような施設にしたい。

通学路の安全対策について

質問 児童・生徒が通学時に不審者等と遭遇した場合の対応は。

答弁 情報が入り次第、チャットツールで全小中学校に周知し、状況に応じて、集団下校や保護者による送迎、パトロールを実施している。警察とは相互連絡体制を整えている。

不登校児童・生徒への対応について

質問 不登校になることで、学力低下が懸念される。学習機会の確保は。

答弁 学習意欲が低下しているケースも多くあるため、まずは児童生徒が安心できる居場所を確保し、意欲を回復した段階で、オンライン授業や中間教室、フリースクール等、自分にあったスタイルで学習の機会を確保している。

質問 不登校児童・生徒の進級や卒業への対応はどうか。

答弁 児童・生徒の状況を十分に考慮した上で、不登校で登校日数が少ない場合でも進級・卒業としている。

生成AIの児童・生徒の利用について

質問 急速な進化を遂げ、学習や生活に利用が広がっているAI。自宅学習で利用する児童・生徒は以前に比べ2倍以上増えているとの報道もある中で、適切な使い方の指導が大事と思うがどうか。

答弁 現時点では授業における利用は禁止しているが、学習活動の補助となる面も見込めるため、今年度中にルールを策定の上、適切に利用できる環境を整備していく。

その他の質問

・市が所有する美術品について



中村 秀人

気候変動が地域に及ぼす影響と対策について

質問 熱中症警戒アラート発出等による市民への注意喚起の状況は。

答弁 熱中症警戒アラートは、県内の暑さ指数情報提供地点の1地点以上で、翌日または当日の最高「暑さ指数」が「33」以上の予測になると発表され、昨年度、県内で15回発表されている。本市では、一番近い「飯山地点」を参考に、前日発表の場合は午後6時と当日の午前10時に、当日発表の場合は午前10時に熱中症に警戒するよう防災行政無線やライフビジョン等により周知している。

質問 クールシェアスポットの設置状況と課題は。

答弁 受付等を行わず、気軽に涼むことができる場所として、市役所本庁舎等公共施設5カ所、民間施設17カ所に設置。課題は、市内中心部に集中していること、市民に広く認知されていないことが考えられる。今年度は「のぼり旗」等を設置し、周知を図るとともに、市街地以外の店舗等へも協力依頼を行っていく。

防災について

質問 防災気象情報の変更点は。

答弁 災害ごとに異なっていた警戒レベル相当ごとの警戒や注意報などの情報名が統一され、市民がとるべき行動に変化はないが、避難をする際の目安が明確になった。

質問 ゲリラ豪雨時の浸水被害解消への取り組みは。

答弁 過去に浸水被害が発生している箇所について、各区からの要望により現地調査を行い、緊急性の高い箇所から計画的に改修工事を実施している。

物価高騰が地域に及ぼす影響と対策について

質問 地元企業および商店の経営への打撃を回避するための市の対応は。

答弁 現在、事業の経営安定化を図るため、運転資金も対象に低金利の融資のあつせんを行っている。また、県の制度資金利用も案内している。

質問 農業への認識と可能な施策は。

答弁 物価・原油価格の高騰は、農業資材や燃料価格を押し上げているため、農業経営の圧迫や利益率の低下による離農が懸念される。国・県へ働きかけるとともに、市独自の支援策も検討していく。

質問 コスト高に強い農業へ支援は。

答弁 新品目導入のための経費や作業の省力化、スマート農業技術の導入経費などに対し支援している。



中村 明文

中東情勢による物価高騰等について

質問 ナフサ不足による建設資材の高騰による市の各種事業への影響は。

答弁 ポリ塩化ビニル管、シンナー等のナフサ由来の建設資材について、納品の遅れはあるが、代替品の対応等により、現在事業実施に当たつての大きな影響はない。また、中東情勢は、大変不透明な状況であり、資材等の不足や価格高騰は大きな懸念事項であることから今後の動向を注視していく。

市役所窓口の開閉庁時間について

質問 窓口の開閉庁時間を9時開庁、16時30分閉庁への検討結果は。

答弁 窓口の来庁者数を調査した結果、午前8時30分から午前9時までと、午後4時30分から午後5時15分までの来庁者の割合は、全体の約1割で、同時間帯の窓口を閉庁することの影響は少ないとの判断に至り、本年度中に試行の有無を含め決定したい。

第82回国民スポーツ大会について

質問 準備状況について、大会経費の財源内訳や事務局体制、また、大会の運営体制はどうか。

答弁 財源内訳は、県補助金、県交付金、市の一般財源を予定している。大会実行委員会が7月初旬に設立される予定であり、文化スポーツ振興課が事務局を担当する。大会の運営体制は、県剣道連盟や中野市剣道連盟・事務局が中心となり、準備から当日の競技会運営まで行っていく。

中野地区区長会の事務局移管後の支援について

質問 中野地区区長会の事務局体制や事務所設置の支援を検討できないか。

答弁 今年度から他の地区区長会と同様に市区長会に対する「行政推進事務委託料」により支援している。事務所設置に対する支援については、他の地区と同様、考えていない。

財政について

質問 令和7年度の一般会計の歳入・歳出決算の見通しは。

答弁 令和6年度と比較して、歳入は26億9千600万円余の増、歳出は19億800万円余の増を見込んでいます。

質問 令和7年度のふるさと寄附金の実績は。

答弁 寄附金総額は、35億6千100万円余となる見込みである。

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案2件、予算案2件、事件案1件、請願1件、陳情1件について、6月8日および19日に審査しました。

主なものとして、急激な児童生徒数の減少及び経済情勢の大きな変化に伴う給食センターの新設統合計画の保留と再検討を求める請願について、「学校給食は子供たちの健やかな成長を支える重要な教育の一環で、安心安全で安定した給食提供体制の確立は市の重要な責務である。将来にわたり安定した給食提供を継続するためには、新設統合を早期に確実に進めることが必要」との反対意見、「施設は築20年ほどしか経っていない」ということで、まだ新しい。中野市では大型建設事業がこれから続くが、市の将来的な財政基盤を考えると今は必要ない」との賛成意見があり、採決の結果、賛成少数で不採択と決しました。

そのほか、条例案2件、補正予算案2件、事件案1件はいずれも原案どおり可決と決しました。

なお、公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情は、趣旨理解できる面と理解できない面があるとしてしました。

民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案2件、予算案2件、事件案1件、意見書1件、請願1件について、6月8日および19日に審査しました。

主なものとして、(仮称)中野市美術館建設工事請負契約の締結について、「市民の理解が十分に得られている」とは言い難い。オアシス公園は市民の憩いの場として親しまれており大切にしたいとの声を重く受け止める必要がある」「緊急の課題ではない美術館を運営計画も練られていなまま施工を進めることに反対」との反対意見、「契約の相手方は、実績のある企業で、3月市議会でも美術館建設事業を含む予算が可決され、入札は公正に行われたものである」「周辺の景観には十分配慮し、図書館との相乗効果により関係人口の創出が見込まれる」との賛成意見があり、採決の結果、賛成多数、可決と決しました。

そのほか、条例案2件、予算案2件については、採決の結果、いずれも原案どおり可決。意見書1件については、否決と決しました。なお、物価高騰に伴う財政への大きな影響が懸念される状況下での(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)の保留と抜本的再検討を求める請願は、賛成少数、不採択と決しました。

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された予算案2件について、6月19日に審査しました。

令和8年度中野市一般会計補正予算(第1号)について、農林水産業費では、県の地域発元気づくり支援金を活用し、農道舗装や水路改修を行うための原材料費などで876万1千円を増額するものであり、採決の結果、原案どおり可決と決しました。

また、令和8年度中野市水道事業会計補正予算(第1号)について、国の重点支援地方交付金を活用し、8月分までとしている水道料金の基本料金無償化を10月分まで延長するためのもので、水道料基本料金の無償化は、中野市全体に恩恵があり、国の交付金を活用し、市民の生活支援ということでは有効であると思うとの賛成意見があり、採決の結果、原案どおり可決と決しました。

■請願

◎急激な児童生徒数の減少及び経済情勢の大きな変化に伴う給食センターの新設統合計画の保留と再検討を求める請願

請願者

中野市議会を傍聴する市民の会
石渡 孝男 外2団体

◎物価高騰に伴う財政への大きな影響が懸念される状況下での(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)の保留と抜本的再検討を求める請願

請願者

中野市美術館建設基本計画の再検討を求める実行委員会
代表 市川 董一郎

■陳情

◎公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

陳情者

学校教育の中立性と透明性を守る
長野県民の会
提出者代表 神林 薫 外1名



6月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	中野市市税条例の一部を改正する条例案	可決	議案第9号	令和8年度中野市一般会計補正予算(第2号)	可決
議案第2号	中野市都市計画税条例の一部を改正する条例案	可決	議案第10号	令和8年度中野市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第3号	中野市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	議 第1号	mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業の中止を求める意見書について	否決
議案第4号	中野市体育施設条例の一部を改正する条例案	可決	請願第3号	急激な児童生徒数の減少及び経済情勢の大きな変化に伴う給食センターの新設統合計画の保留と再検討を求める請願	不採択
議案第5号	令和8年度中野市一般会計補正予算(第1号)	可決	請願第4号	物価高騰に伴う財政への大きな影響が懸念される状況下での(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)の保留と抜本的再検討を求める請願	不採択
議案第6号	令和8年度中野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決			
議案第7号	中野市情報通信施設HFC設備撤去工事請負契約の締結について	可決			
議案第8号	(仮称)中野市美術館建設工事請負契約の締結について	可決			

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	高橋幸司	阿部一真	小川高靖	黒岩隆	芋川嘉寛	頓所陽子	羽田一臣	江口栄光	笠原豊	土屋博	渡辺菊男	本田将伸	松樹純子	中村明文	中村秀人	塚田一夫	宇塚千晶	松野繁男	阿部光則	高野良之
議案第8号	(仮称)中野市美術館建設工事請負契約の締結について	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	議	○	○	×	○
議 第1号	mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業の中止を求める意見書について	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×
請願第3号	急激な児童生徒数の減少及び経済情勢の大きな変化に伴う給食センターの新設統合計画の保留と再検討を求める請願	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	議	×	×	○	×
請願第4号	物価高騰に伴う財政への大きな影響が懸念される状況下での(仮称)中野市美術館建設基本計画(案)の保留と抜本的再検討を求める請願	×	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	×	議	×	×	○	×

※ ○は賛成 ×は反対 △は退席 欠は欠席

※ 議は議長(可否同数以外は表決に加われません)

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。
 市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。
 聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。
 ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。
 音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2111 (内線316) F A X (22) 5922

Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



手話通訳申請
ながの電子申請サービス

市議会を
傍聴しませんか

北信3市議会議員研修会

7月13日、飯山市において、北信3市議会議員研修会が開催されました。この研修会は、須坂市、飯山市、中野市の議会が合同で毎年開催しているもので、中野市議会から全議員が参加しました。

当日は、全国で地方議会議員向けのセミナーや講演の講師を務められている廣瀬和彦氏を迎え、「効果的な一般質問のあり方」と題し講演をお聴きしました。具体的な事例も交えながら「よい質問」「悪い質問」をわかりやすく解説していただきました。



表紙の写真

7月12日、長野市にある長野県消防学校において第68回長野県消防ポンプ操法大会・第35回長野県消防ラッパ吹奏大会が開催されました。

この大会には、6月28日に北信合同庁舎で開催された北信消防協会の消防ポンプ操法大会で優勝した中野市消防団南部方面隊が第2部小型ポンプ操法に出場し、日ごろの訓練の成果を遺憾なく発揮され、第4位の成績となりました。番員審査でも1番員が個人表彰されました。

(写真提供 中野市消防課)

令和8年9月中野市議会
定例会会期日程(予定)

○開会日	9月1日(火曜日)
○市政一般質問	9月8日(火曜日)
	9月9日(水曜日)
	9月10日(木曜日)
○委員会	9月11日(金曜日)
	9月14日(月曜日)
	9月15日(火曜日)
	9月16日(水曜日)
	9月17日(木曜日)
○閉会日	9月25日(金曜日)
○請願・陳情について	

9月定例会における請願書および陳情書の受付は、8月17日(月曜日)の午後5時までです。

※他の行事等により日程を変更する場合があります。

第7代後期
議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長 松樹 純子
副委員長 中村 秀人
委員 高橋 幸司
小川 高靖
頓所 陽子
羽田 一臣
笠原 豊
土屋 博
渡辺 菊男
松野 繁男

ご意見・ご感想を
お聞かせください

議会だよりをお読みになってのご感想や議会に対するご意見などがありましたら中野市議会までお願いします。



FAX(22)5922

Eメールgikai@city.nakano.nagano.jp

あとがき

令和8年6月定例会は、本年4月の市議会議員選挙後、新メンバーで迎えた初めての定例会でした。7人の新人議員は戸惑いながらも、他の議員などに確認しつつ丁寧に準備し、真剣に臨む姿が見られました。

一般質問には新人を含む12人が登壇し、市民の声を受け止めた質問、これまでの活動で感じた課題、自身の生活に根差した問いなど、それぞれの議員らしい視点が示され、興味深い内容でした。

傍聴者も増えつつありますが、市議会議員選挙の低い投票率を思うと、より多くの市民に議会の役割や活動を知っていただきたいと感じています。議会の様子を身近に感じてもらえるよう、今後も丁寧に伝えていきたいと思っています。